

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2010

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島市立大学		科目開講 キャンパス	本学		
2. 科目名	正式科目名	地域再生論			クラス名	
	副題				配当年次	2年以上
	旧科目名				受入学年	2～4年
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系・その他	
サテライトで開講される科目の科目群		A群		B群		
3. 担当教員名	金谷信子 ほか					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2020年10月5日（月）～2021年1月25日（月） 月曜日 14：40～16：10					
個別開講日	1回目 10/5	2回目 10/12	3回目 10/19	4回目 10/26	5回目 11/2	6回目 11/9
	7回目 11/16	8回目 11/23	9回目 11/30	10回目 12/7	11回目 12/14	12回目 12/21
	13回目 1/4	14回目 1/18	15回目 1/25	16回目 /	試験日 /	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ( ) 2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	10人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	抽選		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本講義では、地方格差の背景である社会・経済環境の変遷と今日の諸課題の実態について学び、地域再生のためのアイデアについて、グローバルな視点を交えながら考え、さらに地域が自ら考え行動していくことを目指して、持続可能な地域再生の方策のあり方について展望していく。</p> <p>◆問題提起—人口変動の時代</p> <p>①ガイダンス 地域再生の背景—超少子高齢化とグローバルな都市化（金谷）</p> <p>②地域再生は何をめざし誰が担うのか—ソーシャル・キャピタルという視点（金谷）</p> <p>③郊外団地のコミュニティ再生（金谷・広島市）</p> <p>④外国人住民との共生（金谷）</p> <p>⑤「居住地」としての地域の価値を測る（山根）</p> <p>◆経済活性化—広島の観光の可能性</p> <p>⑥観光地経営（井手吉）</p> <p>⑦地産品の活用（井手吉）</p> <p>⑧「観光地」としての地域の価値を測る：しまなみ海道観光需要調査（山根）</p> <p>⑨日本酒と地域文化の共進化関係を解明する（山根）</p> <p>◆チャレンジの最前線</p> <p>⑩海士町の島おこし①：生き残るための10の戦略（目黒）</p> <p>⑪海士町の島おこし②：Iターン陶芸家の勇木史記さんと語る（目黒）</p> <p>⑫海士町の島おこし③：聞き書きと対話から分かること（目黒）</p> <p>⑬開発の「万能薬」としての観光？：アフリカの事例から（目黒）</p> <p>◆まとめ</p> <p>⑭地域再生は誰のため？ 地域振興政策の系譜 競争 vs. 再分配（金谷）</p> <p>⑮まとめ（全員）</p>					
11. 試験・評価方法	レポート					
12. 別途負担費用	なし					
13. その他特記事項	なし					
14. サテライト科目の社会 人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否	